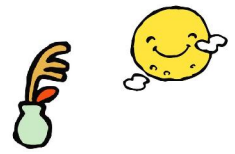


ほけんだより 9月



2018/9/3 厚生館保育園

猛暑の夏でしたが、子ども達は楽しいひと時を家族の方と過ごしたようで、こんがりとお日焼けをして元気に登園しています。

7月8月は、40℃超えの気温を記録した地域もあり、体温より高い日が続きました。消防庁の発表によると、2018年4月30日から8月26日までで熱中症で救急搬送された件数は89,305人、前年度は49,376人で、約4万人多いと発表されています。9月に入ってもまだまだ暑い日が続くようなので、こまめに水分を補給し、生活リズムを整え疲れを残さないようにしましょう。

7月・8月の感染症・・・

病名	7月	8月
りんご病	13名	4名
手足口病	6名	7名
ヘルパンギーナ		1名
RSウイルス		12名
突発性発疹		2名

手足口病、伝染性紅斑は、少なからず8月の末になっても感染が確認されていますので、引き続き注意が必要です。0才児クラスでRSウイルスに感染した児が9名、1才児クラスで3名確認されました。RSウイルスは全国的に8月から流行する感染症です。大人であっても軽い風邪症状に罹った場合はRS感染が考えられ、知らないうちに子どもにうつしていることもありますので、手洗い、咳エチケットに留意しましょう。

9月1日防災の日

災害から身を守れ！



いつも何気なく過ごしている日常。でも災害は、いつ起こるかわかりません。予想しないことが起こると、人はパニックになり、危険度は増します。自分で自分の身を守る方法を普段からしっかり繰り返し学んで、落ち着いた行動がとれるようにしておきましょう。

サバイバル 1: 火災



火災で怖いのは、火そのものより煙です。煙には有毒ガスが含まれているので、たくさん吸い込むと意識がなくなり逃げ遅れてしまいます。熱くなった煙は空気より軽いので天井を伝い、階段などを登って上へと広がります。逃げる時は煙を吸い込まないように口をハンカチや服で覆い、できるだけ姿勢を低く、床を這うように進みましょう。息を止めると苦しくなった時に深呼吸をしてしまい、煙を一気に吸い込むので危険です。

サバイバル2: 地震



揺れが数分続くとときもあります。丈夫な机の下にもぐって、落下物から頭などの身を守りましょう。揺れている時に火を消そうとするとやけどの危険があります。揺れが収まったらすぐに火を消します。火を消したらドアを開けて出入り口の確保もしましょう。

サバイバル3: 落雷



雷は高いところに落ちやすいので、グランドやプール、海岸などの平面では人に落ちることもあります。早く安全な場所に避難しましょう。建物や車の中は比較的安全です。高い木の下は危険です。木の幹だけではなく、枝や葉っぱからも最低 2mは離れてください。また軒先の雨宿りも危険です。雷の電流は物の表面を流れるので、電流が壁を伝い感電する危険があります。また、移動する時は姿勢を低くして、手に持っている物を体より高く突き出さないように気をつけましょう。

9月の保健行事

- 4日(火) 身体測定(2~5才児)
- 5日(水) 身体測定(0,1才児)
- 7日(金) 地域身体測定
- 10日(月) 地域・0才児健診
- 14日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 21日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談
- 28日(金) 地域ベビーマッサージ・育児相談

